

報 道 資 料

平成30年4月9日
消費・生活安全課
食品安全推進係
担当：本岡、吉本
内線：3182、3185
ダイヤル：27-8681

食中毒事件の発生について ～カンピロバクターによる食中毒～

平成30年4月5日（木）午後1時30分頃に、橿原市内の医療機関から「3月30日（金）に飲食店を利用し食中毒様症状を発症した者を複数診察した」旨の連絡が中和保健所がありました。

同保健所が調査したところ、3月30日（金）午後7時から1グループ26名が橿原市内の飲食店を利用し、3月31日（土）午後6時を初発として8名が下痢、発熱、頭痛等の食中毒様症状を呈し、うち6名が医療機関を受診していることが判明しました。

調査の結果、有症者の共通食は当該施設が提供した食事以外にないこと、有症者のふん便からカンピロバクターを検出したこと、有症者を診察した医師から食中毒の届出があったことから、同保健所は当該施設が提供した食事を原因とする食中毒と断定し、3日間（4月9日（月）から11日（水）まで）の営業停止を命じました。

なお、入院患者及び重症者はおらず、有症者（8名）は全員快方に向かっています。

発 生 日 時	平成30年3月31日（土） 午後6時 ～
有 症 者 関 係	有症者数： 8名 男 性： 1名（35歳） 女 性： 7名（21歳～63歳） 受診者： 6名
主 症 状	有症者（8名）の状況 下 痢： 8名（2～10回以上） 発 熱： 7名（37.8～39.4℃） 頭 痛： 6名 腹 痛： 3名 ※症状の重複を含む
原 因 施 設	所在地： 名 称： 営 業 者： 業 種： （報道資料提供後、一定期間が経過していますので、施設情報は削除しています。）
原 因 食 品	3月30日（金）に提供された食事（未加熱の鶏肉が含まれます。）
病 因 物 質	カンピロバクター
検 査 関 係	有症者のふん便：5名（4名からカンピロバクターを検出）
措 置 等	行政処分：4月9日（月）から11日（水）まで3日間の営業停止 指導事項：提供されたメニューの中に未加熱の鶏肉が含まれていたことから、未加熱の状態での提供の中止 施設及び調理器具の洗浄・消毒、食品の衛生的な取扱い 食品等の調理・保管管理の徹底、調理従事者の衛生管理の徹底 調理従事者に対する衛生教育

◎メニュー

メ ニ ュ ー	鶏の刺身（肝・ささみ）、野菜サラダ、ポテトフライ、鶏の唐揚げ、牛の網焼ステーキ、だし巻き卵、鴨ロースの炙り、鶏塩焼きそば、鶏雑炊、ゆずシャーベット、焼鳥盛り合わせ
---------	---

◎有症者の発生状況

年齢	～9歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	～89歳	合計
男性	()	()	()	1 (1)	()	()	()	()	()	1 (1)
女性	()	()	2 (2)	1 (1)	1 (1)	2 (1)	1 ()	()	()	7 (5)
計	()	()	2 (2)	2 (2)	1 (1)	2 (1)	1 ()	()	()	8 (6)

()受診者 再掲

住所別

橿原市：2名、王寺町：2名、大淀町：1名、川西町：1名、広陵町：1名、天理市：1名

参 考

食中毒発生状況（奈良市を含む）

平成29年度（本件を含む）

平成28年度

件数： 9件

有症者数： 157名

合計： 9件

有症者数： 75名

★報道機関の皆様へ★

カンピロバクター食中毒を防ぐため、県民の皆様への下記事項の情報提供・啓発にご協力をお願いします。

カンピロバクターによる食中毒について

<予防のポイント>

食肉、食鳥肉の生食を避けましょう。

調理するときは、中心部まで十分に加熱しましょう。

生肉を扱った後は、手指及び器具の洗浄と消毒を行いましょう。

<特徴>・家畜、家禽類の腸管内に生息し、食肉（特に鶏肉）、臓器や飲料水を汚染する。

・乾燥にきわめて弱く、また、通常の加熱調理で死滅する。

<症状>・潜伏期間は1～7日と長い。腹痛、下痢、発熱、倦怠感、頭痛、吐き気、血便等。少ない菌量でも発生。

・感染してから数週間後に「ギラン・バレー症候群※」を発症することもある。

※ギラン・バレー症候群：手足の麻痺、顔面神経麻痺、呼吸困難等を起こす。

<過去の原因食品>・食肉（特に鶏肉）、飲料水、生野菜、牛乳など。

・潜伏期間が長いので、判明しないことも多い。

<対策>・調理器具を熱湯消毒し、よく乾燥させる。

・肉と他の食品との接触を防ぐ。

・冷蔵庫内での二次汚染を防止するため、ビニール袋や容器に入れて、他の食品を汚染しない。

・食肉は、十分な加熱（75℃以上、1分以上）を行う。

・生肉を取り分ける箸やトングを用意し、食べる箸で生肉には触れない。



電子顕微鏡写真。細長いらせん状のらせん菌。
<食品安全委員会事務局 資料>